

地理関連学連合 運営委員会 2020 年第一回会議

日時 2020 年 11 月 5 日（木曜日）~~13:00-14:30~~13:00-14:30

形態 オンライン会議

出席者：井田仁康、大佛俊泰、島田沢彦、高野岳彦、春山成子、目代邦康、山本佳世子、由井義通、渡邊眞紀子

議事録案

1. 自己紹介と各々の所属学会の紹介
2. 地理関係学連合の目的と今期の活動

連合HPから活動目的の説明と既往の連合の活動についての報告

今期の活動内容についての検討について 2 件の検討議題が挙げられた。

A 地理情報システム学会（若手分科会で実施しているアンケート調査についての説明があった。並びに連合関係学協会のアンケートへの回答依頼があった。学協会長のみならず、各々の学協会の会員にもアンケートへの回答を依頼したい。アンケートの集計は終了次第、適時、各学協会へもフィードバックする。）

<https://sites.google.com/view/gisa-wakate/online>

B 沙漠学会（オンライン利用の学会運営についての情報共有についての依頼があった。日本地理学会、地理情報学会、日本地形学連合から最近のオンラインシンポジウムなどの設置時の工夫、手法について具体的な説明があった。）

3. 教員免許研修について

教員免許に関わる研修に、必ずしも、地理総合、地理探求の指導内容が盛り込まれていない。地理総合の必修化に向け、地理教育に携わる教員への研修に地理的な素養が必要である。諸外国の事例ではワークショップ形式で教員自らが研修を受ける受け皿があり（G I F T）、日本でもこのようなものが必要である。この問題に対して、例えば、日本地理学会地理教育専門委員会、人文地理学会地理教育研究部会、地理科学会などが中心となりオンラインで教材提示（ユーチューブを含む）、教員同士の議論を取り入れた研修を持ち回りで行うことが提案された。教材などについて日本地理学会地理教育専門委員会HPでの公開の可能性への意見があった。具現化にむけ課題を持ち帰り検討することにした。

4. イベントの後援。共催などの手続きについて

連合へのイベント後援、共催などの手続きについては、申請書を作成して運営委員会にて承認を受けることになった。申請書については J P G U の申請書に準ずるものを作成するとした。

5. その他

今後の会議を検討し。年 1 度の機構、連合、協議会の合同総会以外に、オンライン会議を年に 2 回の開催で 3, 4 番の議案への対応をすることにした。

次回会議を 2021 年 2 月、3 月に開催することを確認した。